



鹿児島県立甲南高等学校

進路指導室だより

令和2年度 第10号（2月9日発行）

凡事徹底！素直な心と感謝の気持ちを忘れずに

2年3組 担任 重信 裕美

2月になりました。3年生は、二次試験に向けてそれぞれの科目に一生懸命取り組んでいることと思います。1・2年生のみなさんも、1年後・2年後はいよいよ自分たちの番だと、気持ちを引き締めて頑張っているのではないのでしょうか。私も十数年前の頃は、二次試験に向けて数学・化学・生物漬けの毎日でした。特に苦戦していた数学は、毎日放課後遅くまで教科担任の先生のところに行き、分かるまで何度も何度も質問しました。自宅で極度の睡魔に襲われていた私は、学校を最大限に利用しました。朝は始発の電車で登校、放課後も下校時間ギリギリまで、土日はもちろん、夏休みも冬休みもお正月も、学校が開いている限り、とにかく毎日学校に通いました。そんなお世話になった学校や先生たちに恩返しをしたいと思い、教員をめざしました。そして、今度は私が高校生みんなのためにできることを精一杯やろうと思いながら、今もこうして毎日学校に通っています。

当たり前のことを当たり前に。

高2のとき、ある先生が「掃除を一生懸命やれば成績は絶対に伸びる」と言いました。それまでは、自分の役割を毎日同じようにやっていただけでしたが、その言葉を聞いてから（何だか神様が見ているような気もして・・・）、今日は机の下の埃を取りながら箒をしようとか、余った時間で窓の棧を拭こうとか、毎日何か1つ工夫しながら時間いっぱい掃除に取り組みました。最近になって、色々な本を読んだり、人の話を聞いたりして、掃除の大切さが改めてよく分かりました。毎日たった10分間ですが、体力、精神力、集中力、協調性、思いやりの心、気付く力など、様々な力が自然と身に付いているのだと思います。とある会社の社長さんが「掃除にしても仕事にしても、平凡なことを積み重ねて徹底していくと何事も行き届くようになる」と言っていました。挨拶をする、時間を守る、一生懸命掃除をする。今みなさんは、それらのことがきちんとできていますか。日々の小さなことの積み重ねが、成績はもちろん、全てのことに繋がっています。早速、今日から意識してみましょう！

何事も素直に受け止め、実行する。

高校生の私は、将来何がしたいのか、どうしたら成績が上がるのか、不安で迷ってたくさん悩みました。そんなとき、朝礼の際の先生の話や度々配られる学校からのお便り、教科担任の先生がノートに書いてくれるちょっとしたコメントなど、いろんな先生の言葉を素直に受け止め、もらった助言は確実に実行しました。二次試験に向かう前、ある先生が「受験のとき土産は絶対に買うな。土産を買うってことは、もうそこには行きませんってことだから。入学手続きをするときに買いなさい」と話をしました。試験が終わって、（あまりの出来なさにショックだったこともありましたが・・・）道中、何も見ずに、何も食べずに、もちろん何も買わずに、とにかくまっすぐ家に帰りました。合格は、そういう素直な心が引き寄せたのだと思います。みなさんも、いろんな先生にたくさんのアドバイスをもらうことがあると思います。言われたことは素直に受け止め、確実に実行しましょう。甲南には、経験豊富な素晴らしい先生方がたくさんいらっしゃいます。学校を、先生たちを大いに活用してください。最後まで、自分の力と先生たちを信じて、一緒に頑張りましょう！

大学受験も教員採用試験も、「志望校に合格したい」「教員になりたい」という気持ちももちろんありましたが、それ以上に「今までお世話になった学校や先生たちに恩返しをしたい！」「支えてくれた家族を喜ばせたい！」という気持ちが大きな原動力だったと感じます。応援してくれるたくさんの人たちの顔を思い浮かべながら、常に感謝の気持ちを忘れず、1日1日を大切に過ごしていきましょうね。

進路指導部より 大学入学共通テスト分析と今後の学習のポイント (国語・英語)

(国語) ◆ 分析

実用的な文章や韻文・エッセイの出題も予想された共通テストであったが、これまでのセンター試験と同様、第1問評論文、第2問小説、第3問古文、第4問漢文という大問構成だった。

生徒の作成したノートや、作品が発表された当時の批評、和歌についての文章が付されるなど各大問で、応用的に考える設問があり、第4問の漢文は五言古詩と韓非子からの出題で、複数の文章を多面的・多角的に読むという共通テストの出題方針に沿った出題であった。

◆ 学習のポイント

第1問に漢字の設問が5問あること、第2問に語句に関する出題が3問あることは従来通りで、現代文の配点100点中、19点分が語彙に関連する出題である。1・2年生は漢字の学習など語彙に関する学習をおろそかにしてはいけない。

また、古文の語句解釈の問題や、漢文の、語句・書き下し文の出題など、これまで同様に基本事項が問われている。今回出題された「めやすし」は「源氏物語」の「若紫」に出てくる単語である。古典の学習では、日々の授業を大切にすることが最重要であることを再認識してほしい。

一方、現代文の選択肢は紛らわしいものもあり、正解を選ぶのはそう簡単ではない。国語は一問の配点が最大9点で、得点のぶれ幅の大きい科目であるだけに、及第点をキープするためには、基礎基本の部分で失点しないことが大切である。日頃からきちんと練習を積むことで、得点力アップを目指してほしい。

(英語: Reading) ◆ 分析

- (1) 内容の変更: すべて読解問題となり題材は日常的なものから意見文・叙述文まで多岐にわたる。
- (2) 語数の増加: 昨年のセンター試験(約2800語)から(約3900語)と大幅に増加。
- (3) 設問の形式: 複数の資料から答えを導き出す問題、意見(opinion)と事実(fact)の区別を問う問題、プレゼンテーションのスライドを完成させるもの・・・というように更に多様化している。

◆ 学習のポイント

(求められる力と必要な取り組み)

- ・ 膨大な量の英文を時間内に読み切るための**スピード** → 日頃から様々な形式の英文をたくさん読む。
- ・ 英文を正しく理解するための**読解力** → 英文を読みながら自分でキーワードや要点を拾い上げる。
- ・ 正確に解答を導き出すための**文法・語法**についての正確な知識と**語彙力**
→ 扱っている教材を大切にする。
- ・ 複数の資料を正しく読み取る**分析力**と**思考力**
→ 情報収集・情報処理の能力を養えるよう日頃から意識する。

(英語: Listening) ◆ 分析

- (1) 配点 : 50点→100点
- (2) 大問構成: 大問4つ→大問6つ
- (3) 音声 : 第3問～第6問・・・1回のみの放送
- (4) 内容 : 音声情報と図表などの視覚情報を組み合わせて答える問題が増えた
読み上げ語数が1000語程度増えた(長い問題文で700語程度)

◆ 学習のポイント

(求められる力)

リスニング力(英語の音声を正確に聞き取る力)、**語彙力**、**読解力**、**思考力**、**分析力**

(必要な取り組み)

日頃からまとまった分量の英文(700語程度)を、**メモをとりながら聞いて**情報を整理する練習
既習の英文の**音読を徹底**して早く読めるようになり、音に慣れると同時に**英語を英語で理解する**習慣をつける